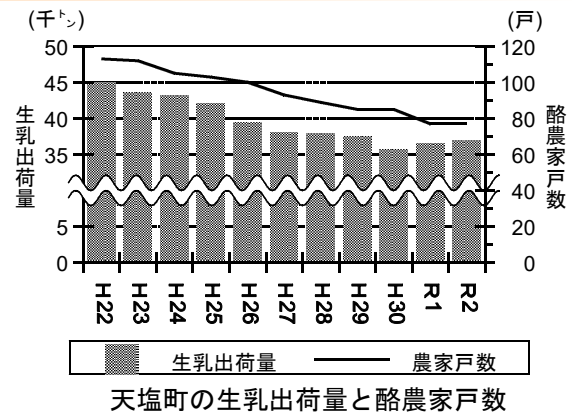


TMRセンター利用農家の生産性向上

～ 地域を支える組織の経営安定化をめざして ～ [本所地域係]

1 背景

- 天塩町では酪農家戸数が減少し、生乳生産量が低下傾向にある。
- 平成29年11月、天塩町酪農家5戸により、粗飼料生産の効率化を目指して合同会社更岸フィードセンターが設立された。
- TMRセンターを活用して地域の生産を拡大していくためには、良質で安価な粗飼料生産と構成員戸々の出荷乳量向上が求められる。
- そこで、粗飼料基盤の強化と飼養管理改善に取り組んだ。



2 取り組み

(1) 粗飼料基盤の強化 ～コーンサイレージの安定確保～

- 飼料用とうもろこしの栽培に係る課題①スタンド数の向上(欠株率の改善)、②施肥量の改善、③雑草防除率の向上に取り組んだ。



改善前



改善後
(土壌処理の実施)

(2) 飼養管理の改善 ～暑熱対策による乳量維持～

- 換気扇の設置等、牛舎環境(暑熱ストレス)の改善を支援した。



改善前

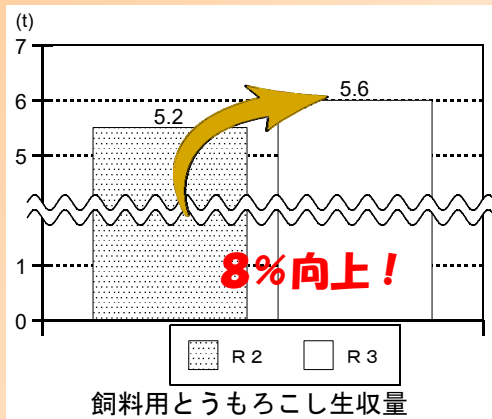


改善後
(換気扇の増台)

3 成果

(1) 粗飼料基盤の強化

飼料用とうもろこしの収量が向上した。



令和2年度に比べて、

① スタンド数が向上

6,521 → 7,629本/10a

② 施肥量が改善

窒素量として9.1 → 10.4kg/10a

③ 雑草防除率が向上

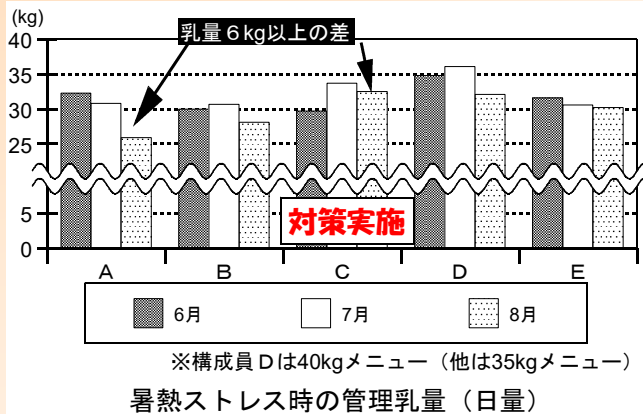
0 → 83%

収量が向上して嬉しい！
来年も継続して取り組み
ます！



(2) 飼養管理の改善

1戸で十分な暑熱対策が実施された。



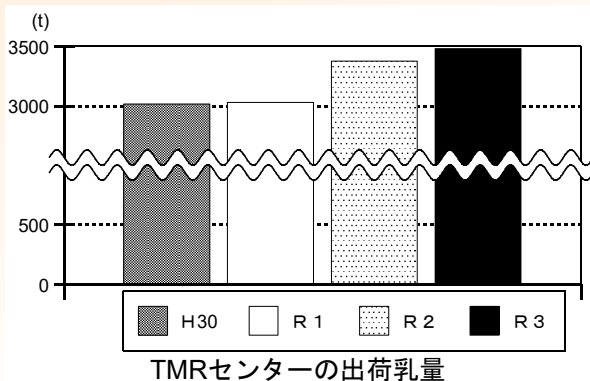
対策に取り組んだC農場は、
ほとんど対策を行っていない
A農場に比べて、8月の管理
乳量が約6kg高かった。

対策のおかげで
夏場に調子を崩す牛も
減ったよ！



C農場

○ TMRセンターの生産乳量



出荷乳量は、
TMRセンター稼働前に比べて
約15%向上！
順調に増え続けている。

4 令和4年度の活動

(1) 粗飼料基盤の強化・・・スタンド数及び雑草防除率の向上を図る。

(2) 飼養管理の改善・・・より効果的な暑熱ストレス改善支援を行う。